

# 京極運輸商事株式会社 < 2020年度 運輸安全マネジメント実施結果 >

項 目	計 画	実施結果・実施内容
目 標	1. 目 標 <交通事故の減少目標> ・重大事故 0 件 (前年通り・現状維持) ※自動車事故報告規則第2条に規定する事故 ・人身事故 0 件 (前年2件) ・物損事故 10 件以内 (前年19件、前年比47%減)	1. 結 果 <交通事故の発生件数> ・重大事故 1 件 (前年発生なし) ※自動車事故報告規則第2条に規定する事故 ・人身事故 1 件 (前年2件) ※2020年度の事故/重大事故を含む(「横断歩道上での自転車の左折巻き込みにより、両足大腿骨骨折を負わせた事故」) ・物損事故 23 件 (前年19件、前年比21%増)
	2. 輸送の安全に関する投資額 ・2020年度予算額 1,609 万円 ・研修会開催費用 (出勤手当、外部講師・会場使用料等) 160 万円 ・秋季安全運動実施費用 10 万円 ・アルコールチェッカーメンテナンス費用 8式 62 万円 ・車載端末更新(リース、保守費用) 225台 381 万円 ・IT点呼(機器・ソフトリース料、保守費用) 36 万円 ・バックアイカメラ導入費用 10式 100 万円 ・非常用発電機 10台 860 万円 style="text-align: right;">投資額 合計 1,609 万円	2. 輸送の安全に関する投資額実績 (投資実績および内容) ・研修会開催費用 (外部講師・会場使用料等) 0 万円 (合同研修会等の開催中止) ・秋季安全運動実施費用 6 万円 ・アルコールチェッカーメンテナンス費用 8式 62 万円 ・車載端末更新 (リース料・保守料) 218台 397 万円 ・I T 点呼 (リース料・保守料) 36 万円 ・バックアイカメラ導入費用 23式 279 万円 ・非常用発電機 0 万円 (設備設置中止) style="text-align: right;">投資実績 合計 780 万円
	3. 輸送の安全に係わる表彰 ・2020年度予算額 250 万円 ・連続無事故 褒賞金等 200 万円 ・優秀運転職ドライビング技能表彰、優秀技能職表彰、優秀運行/整備管理者表彰 副賞 50 万円 style="text-align: right;">表彰額 合計 250 万円	3. 表彰関連実績 ・連続無事故 褒賞金等 220 万円 ・優秀運転職ドライビング技能表彰、優秀技能職表彰、優秀運行/整備管理者表彰 副賞 49 万円 style="text-align: right;">表彰額 合計 269 万円
計 画	1. 労使による安全委員会を全社及び各事業所に設け、発生した事故の原因分析、予防対策、輸送の安全に関する情報を共有するために定期的又は必要に応じ適宜開催する。  2. 貨物自動車運送安全性評価事業 (Gマーク) の更新 3. 健康管理の推進 ①健康診断の年2回の実施 (春・秋) の継続 ②睡眠時無呼吸症候群(SAS)検診の運転職全員の受診  ③乗務前点呼時に血圧測定の継続実施  4. ドライバーの研修・教育 研修会を年10回実施する  5. 計画に基づいた教育を実施する。  6. 飲酒運転を防止する。  7. 危険への感受性を高める。 8. 輸送の安全にかかわる公的行事等を計画する。 ①春の全国交通安全運動 (4/6～15)                      ②秋の全国交通安全運動 (9/21～30) ③全国安全週間 (準備 6/1～30、実施 7/1～7)      ④全国労働衛生週間 (準備 9/1～30、実施 10/1～7) ⑤年末年始の輸送等に関する安全総点検 (12/10～1/10) 9. その他 ①秋季安全運動 全社5S運動の実施 ②免許・資格取得促進 ③適性診断の受診 ④BCP訓練 (事業継続計画) の実施、検証 (化学品: 10月、石油: 11月) ⑤連続無事故、安全に対する取組推進者表彰 ⑥外部講習会・研修会の受講推進 ⑦改善基準の遵守 (連続運転時間4時間以内) ⑧新入運転職フォローアップ教育	1. 安全委員会等 ・中央安全衛生委員会 (コロナウイルス感染防止のため中止) …議題: 「運輸安全マネジメント2019年度実績・2020年度計画」、(メールにて資料を配布、意見質問を受付。) ・地区安全衛生委員会…各支店で月1回実施 2. 2020年度更新:川崎支店(更新6回目)・京浜支店(更新3回目)・蔵王事業所(更新6回目)・倉敷事業所(更新4回目)、計2支店・2事業所 3. 健康管理の推進 ①健康診断: 輸送部門 (春・秋) の実施率 100% (延べ347名) ②睡眠時無呼吸症候群(SAS)検診 ・SASスクリーニング検査: 運転職/治療中の13名を除く137名受診(1名未受診/2021年4月受診予定)⇒要検査 D判定=9名、要精密検査E判定=0名(内治療開始=2名) ・「睡眠時無呼吸症候群(SAS)取扱規定」の制定(2020年4月施行): 運転職のスクリーニング検査・要精密検査判定者の精密検査受診の義務付け、検査費用の20,000円を限度としての会社負担 ③血圧測定: 2019年5月より運転職全員に義務付け ・重症(上180以上・下110以上) 3回検出(前年比▲6回)、中等症(上160以上180未満・下100以上110未満) 延べ検出回数 37回(前年比▲250回) ・出勤測定人員/1日平均151名 中等症以上の検出人数/年間21人(前年比▲21人)⇒高血圧治療中7名、経過観察14名(検出回数が年2回以下のため) 4. 研修会 3回開催 コロナウイルス感染防止の為、10回計画していたが3回のみ開催となった。 ①本社支店合同研修会 (化学品・石油輸送グループ合同) は、2回の開催を計画したが、コロナウイルス感染防止のため中止 ・5/17川崎・京浜支店合同、5/31京葉支店の開催にて会場・講師を確保したが、政府の緊急事態宣言を受け中止を決定。研修会用資料を配布、各部所にて役付会等にて内容説明、活用。 ②支店主催研修会 ・京葉支店: 11/21…30名参加(石油・化学①・②各Gr、白井事業所合同) (経験年数5年以下の乗務員を対象に車庫内にコースを作り、車両の特性を体験させた) ・川崎支店: 11/ 7…40名参加(輸送Gr、京浜支店配送業務Gr合同) (チェーンの脱着訓練・消火器の使用法説明及び模擬消火訓練を実施) ③各事業所主催研修会 ・倉敷事業所: 6/9・12…19名参加 ・富士・蔵王事業所: コロナウイルス感染防止のため中止 ④本社主催研修会 (職長・班長研修会/外部講師依頼) 計4回開催を計画したが、コロナウイルス感染防止のため中止 5. 地区安全衛生委員会等に併せ、月一回教育実施 ・国交省告示の「事業者がドライバーに対して行う一般的な指導及び監督の指針」に基づく12項目の教育を各部所で実施。 6. 点呼時、アルコール検知器によるアルコールチェックを実施。 ・「飲酒運転防止規定」による飲酒運転防止を継続実施 ⇒ 2020年度のアルコールチェック抵触者: 5名 (5回)、その他飲食等による検知者: 18名 ・アルコール検知器の保守校正契約を締結し、精度の維持管理に努めている。・アルコール消毒による誤検知が発生したことで、注意喚起を実施した。(5/8) 7. 危険予知活動の定着を図った ⇒ 危険予知のDVDを毎月購入。各支店で役付会等で活用。 8. 公的行事…全て期間内に実施済み ・「秋の全国交通安全運動」に合わせ、9/18に3支店のみ役員他による職場朝礼を実施した。社長、役員等による添乗指導は、コロナウイルス感染防止のため中止とした。 ・「全国安全週間」時、役員等による職場巡回実施 (7/1本社朝礼、7/2各職場巡回) ・各支店・事業所で計画を作成・実施。社内の実施状況を取りまとめ報告 (① 5/7、② 10/20、③ 7/20、④ 10/20) 9. その他 ①事故防止対策として「秋季安全運動」実施 ⇒ 11/20～30「全社5S運動」準備期間、12月「全社5S運動」推進月間 (推進月間に合わせ、社長、役員による朝礼実施) ②取得者 運行管理者: 12名、第1種けん引免許: 1名、危険物乙種2類: 2名、危険物乙種4類: 4名、危険物乙種6類: 2名 他資格・免許: 10名 ③初任、適齢診断、一般診断の確実な実施を図った。⇒ 初任診断6名、適齢診断1名、一般診断94名受診 ④BCP訓練実施 ・化学品: 10/26実施 (対象を支店から事業所にも拡大)、石油: 11/6実施 ⑤連続無事故期間入社後1年及び5年毎に表彰実施 ⇒ 今年度表彰者: 27名 (25年: 1名、20年: 1名、15年: 1名、10年: 4名、5年: 6名、1年: 14名) ⑥外部講習会・研修会の受講は、コロナウイルス感染防止対策の影響で、講習会3回、5名の受講にとどまった。…受講研修会/エコドライブ、安全研修等 ⑦デジタコ用新ソフト/エストラを導入し、改善基準遵守状況の確認を行い、抵触者に対する指導を強化した。 ⑧新入運転職フォローアップ研修: コロナウイルス感染防止対策の影響で中止としたが、経験年数5年以下を対象に運転技術向上のための研修会を実施。(京葉支店化①、化②、石油、白井)
評 価	・評価及び改善は、年1回以上行なう。	・「輸送安全会議」の対面での開催は行わず、「2019年度実施結果の評価、2020年度実施計画の内容」について、資料を会議メンバーへ配布し、評価・検討を依頼、4/27に承認済み。